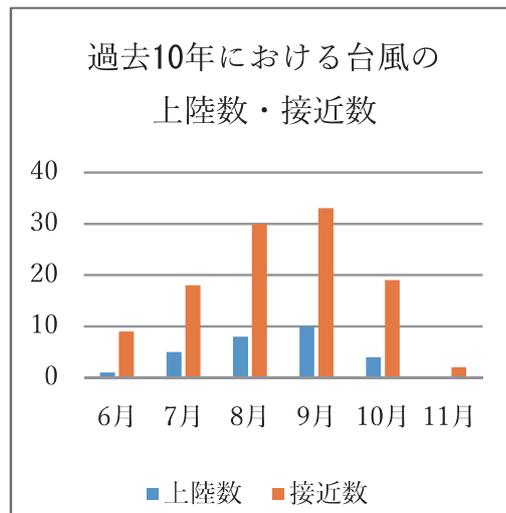


台風シーズン突入

これからの季節は、台風や前線の影響で、大雨、洪水、暴風、高潮などの自然災害が発生しやすい時期です。今年も、既に平成30年7月豪雨などの記録的な大雨が降り続いたことによる災害も発生しています。また、台風12号はこれまでにない動きで紀伊半島の東側から上陸し、気象状況の予測がつきにくいものでした。9月は台風の上陸、接近が他の月に比べ多い月です。台風などの情報には注意して被害が出ないように備えましょう。



気象庁HPより

台風や大雨情報をキャッチした時

■気象情報に注意

ラジオやテレビ、インターネット等で、最新の気象情報を入手しましょう。

■非常持出品を準備

懐中電灯、携帯ラジオ、非常食、救急用品、貴重品など、避難するのに必要な最小限の非常用品を普段から準備し、いつでも持ち出しできるようにしておきましょう。

■危険な場所には近づかない

増水した川や用水路、海の波打ち際は大変危険です。また、がけ崩れが起こりそうな場所には近寄らないようにしましょう。

■早めの避難を

自治体から出される避難情報などに注意し、明るいうちの避難を心がけましょう。

避難情報について

災害の発生リスクが高まった際には、市から市民の皆さんに避難情報を発令します。避難情報は、「避難準備・高齢者等避難開始<避難勧告<避難指示」の順に緊急度・拘束力が高くなります。それぞれの避難情報の意味を正確に認識していただき、避難情報が発令された際には迅速な避難ができるようにしてください。

